

令和6年3月 自己評価結果（ドットステイ都賀（医療多機能型生活介護））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R6/2/1～R6/3/15>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R6/2/1～3/20>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保		
	職員の配置状況	・医療的ケアが必要なお子様を送迎する際は必ず看護師を添乗しております。	・医療的ケアが必要なお子様を送迎する際は必ず看護師を添乗しております。
	事業所内の安全対策	・また、医療的ケアが必要でないお子様の送迎の際も、運転手とは別に必ず1名添乗を付けて送迎しております。	・また、医療的ケアが必要でないお子様の送迎の際も、運転手とは別に必ず1名添乗を付けて送迎しております。
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル		
	職員の資質の向上、研修の機会の確保	・HUGで写真を送ってくれるのでありがたいです。	・今後も事業所での楽しんでいる姿を、保護者の皆様へお届けできるよう努めてまいります。
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施		
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認	・適切に支援いただけてと思います	・今後も個別支援計画に基づき、一人ひとりにあった支援をしてまいります。またプログラムを通して楽しみながら、成長できる機会を提供していきます。
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<p>・家族や兄弟も参加できるようなお出かけイベントなどもあると嬉しいです</p> <p>・日数を増やしたいが、こどもの体力を考えると増やせない</p>	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。保護者の皆さまからいただいたご意見を反映しながら、お子様が安心して通所できる環境整備やプログラムの作成に努めてまいります。</p> <p>・些細な悩みでも相談していただけるような環境づくりに取り組んでまいります。</p>
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<p>・説明等されています</p>	<p>・引き続き、説明責任を果たし、小さな変化にも気づき保護者の皆様へ共有できるよう努めてまいります。</p>
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<p>・避難訓練を行っているのか不明です。</p>	<p>・年2回の避難訓練を実施しております。</p> <p>・また、BCPを作成し、非常時に適切に対応できるように努めております。</p>
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	・家族以外の人とふれあう機会や療育やお出かけをして頂けいろんな経験ができ、私も預かって頂けてる間に次男の試合など見に行くことができたりするのでとてもありがたいです!!	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もドットステイ都賀でこそ経験できるものを増やしていき、皆様の満足度をより上げていけるように取り組んでいきます。 ・また、卒業後の進路先として第一に考えていただけるような施設づくりに全職員で励んでいきます。
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み	・まだお友達が少ないようなので、もっと人数が増えて、お友達と遊んだり、触れ合ったりできるようになるといいです。今後とも宜しくお願い致します。	
	通所を開始して良かったこと	・色々な経験や外出が出来よかったです。	
	今後期待したいこと	・安心して預かって頂けてます。 これからもよろしくお願い致します。	

令和6年3月 自己評価結果（ドットステイ蘇我（医療多機能型生活介護））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R6/2/1～R6/3/15>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R6/2/1～3/20>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	<p>・浜野から蘇我へ変更後、見学をしていないため環境などは把握出来ていませんが送迎時にお会いする担当されるスタッフの方は変わっていないので安心して預けることが出来ています。</p> <p>・活動スペース、入り口、トイレなどの狭さ、入浴室が離れている、車からの昇降スペースが道路など…重身施設としては狭いですし、環境は整っていないと思います。</p>	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。設備面に関しては改築や設置する備品を工夫して、少しでもお子様のスペースが確保できるように改善してまいります。</p>
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	<p>・HUGの記録からどのようなことをしているのかわかるので安心していきます。</p>	<p>・引き続き、保護者の皆様に安心していただけるようなサービスを提供し、その都度皆様に報告ができるよう取り組んでいきます。</p>
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<p>・スタッフの方が皆さん明るく、ベテランの方も居て、安心して任せられます。</p> <p>・子どもが楽しそうにしているのを見て、いいスタッフさんに恵まれて本当に良かったと思います。</p>	<p>・ありがとうございます。今後もお子さんが安全に楽しく過ごせるよう取り組んでいきます。また、個別支援計画に基づいて、一人ひとりにあった支援を心掛けてまいります。</p>
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<p>・親の話にも耳をかたむけてくださり、力になろうと努力してくれているのを感じます ありがとうございます。</p> <p>・放デイは利用し始めたばかりですが、今後成長したら放デイ→重心や医ケアも対応してもらえる生活介護や入所できる施設など、同じグループの中でスムーズに移行できるように継続して支援さえていただけたら嬉しいです。</p>	<p>・ドットステイでは放デイを卒業後も同施設、同職員で生活介護が利用できるようになっております。卒業後の進路を不安なく決定できるよう、日々サービスの質向上に取り組んでまいります。</p>
	学校や保育園などの情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<p>・開所してまだ間もないので、職員の方も大変だと思っています。これから落ち着いてお友達と遊んだりする時間が増えると良いと思います。</p> <p>自宅では家族と引きこもってばかりなので、デイでたくさんの方に関わってもらえて本人に良い刺激になっていると思います。ありがとうございます。</p>	<p>・保護者の皆様に安心して預けていただけるよう日々活動しております。職員やお友達のほかに、外出プログラムを通して、地域の方と接する機会も設けております。</p>
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<p>・避難訓練を行っているのか不明です。</p>	<p>・年2回の避難訓練を実施しております。</p> <p>・また、BCPを作成し、非常時に適切に対応できるように努めております。</p>
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	・休校日や長期休暇中の自宅へのお迎えが10時~11時と遅いため、仕事に遅刻しないとならず、もう少し早めのお迎えだととても助かります。	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。送迎に遅れる場合のご連絡は徹底していきます。安全第一で送迎を行っているため、遅れてしまうことはあるかと思しますので、何卒よろしく願いいたします。</p> <p>・お子様の成長された姿を見られるのは私たちも同様にうれしい限りです。今後もより多くの成長した姿を見せられるように支援に取り組んでいきます。</p>
	子どもが通所を楽しみにしているか	また、自宅への迎えの予定が30分以上遅れても連絡がなかったことがあり、道路事情やほかの利用者との兼ね合いもあるかとは思うので遅れるのは仕方ないとわかっていますが15分以上予定が遅れている時には連絡をいただけるとありがたいです。	
	現状抱える不安や悩み	・関わってもらう方が増えたからか、放デイ以外でもあまり知らない方と関わっても人見知りからのグツと緊張が入ることは少しずつ減っているように感じていて、笑顔で過ごせる時間が増えていることをありがたく思っています。	
	通所を開始して良かったこと	学校後、預かってもらえていることで兄弟と関われる時間が多く取れたり、仕事が出来る環境にして貰えているので助かります。	
	今後期待したいこと		